

第1回 ソーシャルフットボール国際大会

World Championship for People with Mental Health Problems
in JAPAN

出場国 (予定) (ABC 順)

アルゼンチン (Argentina) デンマーク (Denmark)

イタリア (Italy) 日本 (Japan)

韓国 (Korea) ペルー (Peru)

- 主催 NPO 法人ソーシャルフットボール協会
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
国際ソーシャルフットボール委員会 (仮称)
- 共催 公益社団法人日本精神保健福祉連盟
一般社団法人大阪府サッカー協会
- 主管 一般社団法人大阪府サッカー協会



スポーツ振興基金助成事業

この大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催されています。
<http://www.naahs.jp/sinker/> 独立行政法人日本スポーツ振興センター



「ソーシャルフットボールとは」

ソーシャルフットボールの名称は、イタリアの "calciosociale (カルチオソチャーレ)" に由来します。イタリアでは、精神障がい者、薬物依存症者、移民、貧困層、機能不全家族の子どもなど、社会的に困難な人たちを排除せず、社会の中で地域の連帯によって支援しています。サッカーを通じてこれを実践しているのが "calciosociale" です。その理念に敬意を表し、日本では精神障がい者のフットボール競技を“ソーシャルフットボール”と命名しました。フットボールを通じて精神疾患・精神障がいのある人に笑顔が戻り、人とつながり、社会の中で分け隔てなく生活できる環境の実現を目標としています。

「精神障がい者スポーツとしての意義」

精神疾患・精神障がいには多くの種類があります。それぞれに特徴がありますが、一般的に対人関係が苦手となり、家庭生活や社会生活に支障をきたすことが多くなります。次第に自信や自尊心が損なわれ、孤立した状態になりがちです。ところがボールを蹴るようになると、外出の機会が増え、仲間ができ、居場所ができます。目標ができれば、大会などを通じて社会との接点が増え、より大きなチャレンジをする勇気が湧いて来ます。その先には、全国や世界の人たちとつながる可能性さえ出てきます。

私たちはフットボールを通じ、精神疾患・精神障がいに対する理解を広げて行くことを目指します。また、より多くの人にとって、フットボールが生きがいになるような環境づくりを進めて参ります。

〈 ソーシャルフットボールのあゆみ 〉

2007年	精神障がい者による国内初のフットサル競技会（大阪）
2011年	精神障がい者のチームによる初の海外遠征（ローマ）
2013年	NPO 法人日本ソーシャルフットボール協会（JSFA）設立 第1回精神障がい者スポーツ国際シンポジウム・国際会議 第13回全国障がい者スポーツ大会オープン競技「第1回精神障がい者フットサル全国大会」 第1回オープン競技 精神障がい者フットサル全国大会（東京）
2015年	日本サッカー協会（JFA）が障がい者サッカー協議会発足 第1回ソーシャルフットボール全国大会（愛知）
2016年	第1回 ソーシャルフットボール国際大会（大阪）

世界初となる精神疾患・精神障がい者スポーツの国際大会が、2013年の国際シンポジウムから3年の時を経て、ついに実現致します！！日本各地へと広がっているソーシャルフットボール（国内約130チーム）が、世界とつながります。



NPO 法人日本ソーシャルフットボール協会 理事長 岡村武彦

近年、統合失調症やうつ病などの心の病に対して運動やスポーツの効用が唱えられるようになってきました。また、精神障がい者スポーツの活動も徐々に広がりを見せています。2001年より精神障がい者のバレーボール大会が開催されるようになり、現在は全国障がい者スポーツ大会の正式種目となっています。

2006年には大阪で全国初のフットサル（5人制サッカー）チームが誕生し、2008年にJリーグチームの協力を得て本格的な大会が開催され、2011年にはイタリア遠征を果たしました。現在は全国で100以上のフットサルチームが活動するまでになっています。2013年に東京で全国障がい者スポーツ大会のオープン競技としてフットサルが採用され熱戦が繰り広げられました。また、世界で初めて精神障がい者スポーツ国際シンポジウムも併せて行われ、近い将来に精神障がい者フットボール（サッカーやフットサル）の世界大会開催が予定されています。私たちは、このような国内・国際大会を含めた様々な取り組みを通して精神障がい者フットボールの活動を推進・振興させ、当事者が満足のある生活をし、希望を持って、何かに貢献できる人生を歩めるよう支援したいと考えています。さらに、これらの活動が心の病への理解を促進させることを願っています。

選手コメント

フットサルを始めて、目標に向かって努力する楽しさを知り、少しずつ成功体験を積み重ねる中で、無理と諦めていたミュージカルにもチャレンジできました。

監督コメント

フットサルは発展途上の競技ではありますが、それ以上にとっても可能性を秘めている魅力あるスポーツであることは間違いありません。精神障がい者スポーツの観点からもフットサルの魅力は計り知れません。共にこの素晴らしいスポーツを盛り上げていきましょう。皆様、ご支援ご協力の程宜しくお願い致します。

選手コメント

フットサルを始めて変わったのは、いろんなことに自信がついて前向きな気持ちになることが多くなり、フットサルだけではなく何事にも取り組むようになりました。仲間がいるのはスゴく頼もしいです。

サッカーやフットサルを通じて、 人とつながり、社会とつながり、 世界とつながること。



〈開催概要〉

2016.02.26 (Friday) 堺市産業振興センター (大阪府堺市北区長曾根町 183 番地 5)
シンポジウム

2016.02.27 (Saturday) J-GREEN 堺 (大阪府堺市堺区築港八幡町 145 番地)
国際フットサル競技大会

2016.02.28 (Sunday) J-GREEN 堺 (大阪府堺市堺区築港八幡町 145 番地)
8 人制国際交流試合

サッカーなら、どんな障害も超えられる。

日本サッカー協会と障がい者サッカー7団体は、サッカー界の発展のために連携していきます。



切筋障がい



精神障がい



知的障がい



電動車椅子



脳性麻痺



視覚障がい



聴覚障がい



公益財団法人 日本サッカー協会 障がい者サッカー協議会

日本の人口の 6% は障がい者です。

その障がいは多様で、ひとつとして同じ在り方はありません。

障がいがあっても、いつでも、どこでも、サッカーを心から楽しめる環境を。

彼ら彼女らが社会にある”障害”を超えていくきっかけづくりやサポートも、サッカーならできる。

私たちはそう信じて、障がい者サッカー協議会を推進していきます。

第1回 ソーシャルフットボール国際大会 実行委員会

HP <http://jsfakokusai2016.wix.com/socialfootball2016>

FB <http://www.facebook.com/jsfakokusai2016>

TW https://twitter.com/sf_2016japan?lang=ja

Mail jsfa.kokusai2016@gmail.com